

# たまつ場からアート発信

地域住民が集い、交流の拠点となる「コマリト・トライカフ」。みんな音楽や美術といったアートのイベントを呼び込もうという団体が県内で活動している。アートを通じ、地域内外の人々が気軽に訪れる場所になりたいと願っている。

## 長崎・野母崎に拠点



小さな店内に太鼓やギターの音色  
が響いたことから野母崎市臨海町

## 音楽家らに場所 地域外からも人

### 西方見聞録

レベトゥンが生まれ変わった「コマリト・トライカフ」

けた。

ら、島の暮らし音楽に身を預ける、みんなの形をあれこれ

る。

アート・コマリション事務

24日にはブラジル音楽のライブがあった。クリスマスを前に、「イルミネーション」の点灯を行われた。

イベントは、これまで011年秋から活動している「アート・コマリション」・ナガサキ（東彼杵町）が主催。活動の場を探していく音楽家らに場所を提供し、アートに関わりたいと思いつぶやく人が、自分自身を楽しむのが、ボランティアとして運営を支え

P.O法人を作りたいといふ。イベント始めの問い合わせは、アート・コマリション・ナガサキ（090-5960-5960・edonagasaki.jp）。

長崎市・野母崎。瀬戸内海が寄せる砂浜を見渡す場所



に「コマリト・トライカフ」がある。元々はコンビニだったが閉店し、今年7月、生まれ変わった。

コマリト・トライカフ

は、地域住民が集い、語らえる場所で、近年、注目を浴びている。「リップル」の運営者ボランティアが支える。無料でコーヒーなどを楽しむ、手作りの本棚などは住民が持ち寄った絵本などが並ぶ。地域の人々が気軽に立ち寄って、憩える場所だ。

11月4日、カフェや、神奈川県や佐世保市から来た音楽家らが、中東やアフリカの太鼓の演奏や歌を披露した。集まった三十数人

は、コーヒーを飲んだり、ケーキを食べたりしながら

アートのイベントによる、カフェに、地元の人も地域外の人も集まるきっかけになる。アーティストが生まれる場所にもなれば」と狙

いを語す。

今後、カフの運営はアートの誘致の両方を担う

(宮田幹子)